

目標達成計画

作成日: 令和4年 10月 1日 A棟

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	虐待防止の徹底	虐待とは何かを考え理解して利用者に対応する。	定期的に身体拘束の会議を全員参加で行っており職員間で意見を出し合い、話し合うことで意識付けしている。	3ヶ月
2	34	利用者の事故や急変に備え応急手当や実践力を身に着ける夜間帯の緊急時の対応	全ての職員が事故や急変緊急時に備えて対応できるようにする。	AEDの研修はコロナ禍でできていない。緊急時は素早く上司へ連絡しその指示に従っている	12ヶ月
3	36	接遇面において目線を合わせた会話や尊敬を持った言葉遣いが不適切であったり馴れ合いの声掛けになってしまうことがある。	職員同士声掛け注意し合える環境を作れるようにしたい。	毎月スタッフ会議で問題点を職員間で出し合い話し合っている。定期的に行われている身体拘束会議でも意見を出し合い話し合いの場を作っている。	3ヶ月
4	42	口腔ケアができてない時がある	個別のレベルに合わせた口腔ケアの実施。	利用者が拒否する場合はタイミングを見て再度声掛けする。洗面台の場所を変えたりと工夫して声掛けしている。	3ヶ月
5	33	介護職員と看護師との情報共有	介護職員は看護師と医療の事がかかわりを多く持つことでコミュニケーションを取り連携を図る。	申し送り帳や受診記録、生活記録ノートを活用し、時には口頭で伝える事で情報を共有し、コミュニケーションを取り連携を図っている	3ヶ月

目標達成計画

作成日: 令和4年 10月 1日 A棟

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 37	利用者の行動や思い言動を制止する言葉かけが見受けられる。	利用者が無理気遣いなく本人のペースで生活できるよう利用者本位の介護を行う。	利用者の行動や言動に合った葛葉かけに工夫する。制止するような言葉や否定する言葉は使わないよう職員間で声かけ合い努める、	3ヶ月
2	57	利用者と職員は一緒にゆったりと過ごす場面が少ない。	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面を作る。	利用者と職員との会話は信頼関係にも繋がるので、おやつ時などゆっくり会話を楽しむ。洗濯物をたたむ時に一緒に行いながら会話する。	3ヶ月
3	51	コロナ禍において家族との面会が難しく利用者も精神的に不安になりがちになっている。	家族とのふれあい	家族と相談し月に一度でもリモートサービスを活用し画面越しに面会し家族と触れ合う機会を作る。	6ヶ月
4	49	コロナ禍の影響で地域との交流や外出が減っているため施設内でできる行事を充実したい。	施設内でできる行事を増やし楽しみの機会を作る。	利用者の誕生会や敬老会、クリスマス会など季節ごとの行事を企画し楽しさを感じて頂く。	12ヶ月
5					3ヶ月

目標達成計画

作成日: 令和4年 10月 1日 B棟

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	本人のその日の気分に合わせておしゃれの支援ができていない。本人が自身で着脱しにくい服がある。	本人の気分でおしゃれができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に尋ねながら着たい服を選んで頂く。 ・誕生会や敬老会などの行事には化粧をしたり髪の設定などをしておしゃれを楽しんで頂く。 ・声掛けにてタンスの整理を行い服を選びやすいように支援する。 ・サイズの合わなくなった服や本人が着脱しにくい衣類は家族へ連絡し補充して頂く。 	3ヶ月
2	40	お手伝いしてくれる方に限りがあり、内容についてもマンネリ化している。日頃参加されてない方にもできるように機会がない。おやつ作りのメニューに季節の野菜や果物を使ったものが少ない。	多くの利用者が参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・献立に季節の野菜や果物を取り入れ準備する。 ・包丁やエプロンなどの調理用具の準備や三角巾・プロンの補充をする。 ・調理器具の使用が困難な方でも食材に触れたりして五感で楽しんで頂く。 	3ヶ月
3	51	本人から手紙やはがきを家族へ出す機会がない。本人の能力が引き出せてない。	季節ごとに手紙のやり取りができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章にこだわらず、塗り絵や貼り絵などの絵手紙にする。 ・使用する色鉛筆や道具の準備をする。 ・職員と一緒に文章を考えたり、本人の能力を引き出せるように作業のお手伝いをする。 	6ヶ月
4					ヶ月

目標達成計画

作成日: 令和4年 10月 1日 B棟

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	身体的な低下がみられ車椅子での移動をされている利用者において戸外への外出の機会が減っている。安全面から人員の配置が必要となり、独歩の方が外出の機会が多い。家族の方の協力を得ながら外出の機会を増やしたい。	季節感が味わえるように外出や外食の機会をもてる。	コロナ感染拡大の影響により自粛や制限が続き外出の機会が激減した。少し感染が収まってきた段階で町内の公園にお花見に出かけお弁当を食べる機会がもてた。現在は施設周辺の散歩を楽しんでいる。	6ヶ月
2	44	排便のリズムが取りづらく便秘症状の方がおられる。利用者によっては食欲不振、発熱等不調がみられる。 日中、ベッド臥床時間が長かったり活動が減少されている。	日中は適度な活動をして排便のリズムが取れる。	献立の中に繊維質の多い食材や乳製品を取り入れ水分もお茶だけでなく、ココアやジュース類を飲んで頂くようにした。果物やゼリーを作り、水分量が多くなるように工夫した。排泄記録には量や形状など詳しく記入し、便秘時には処方された薬で調整を行っている。レクリエーションでは風鉛パレーボール蹴りなど手足を動かす運動を多く取り入れた。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月